

| 科目名称(Course Title) | | | | 担当教員 (Instructor) | |
|---|------------------------------------|-----------------------|----------------------|---------------------------------|--------------------------|
| インターンシップ I | | | | 江上 直樹 / 佐藤 充 | |
| 開講学期 (Semester) | 単位数 (Credits) | 履修年次 (Requirement) | 授業形態 (Class Type) | 受講定員の有無 (Maximum Enrollment) | 授業公開 (Workshop Class) |
| 前学期 | 2 単位 | 3 年次 | 講義 | 無 | 無 |
| 授業の概要(Course Description) | | | | | |
| <p>この授業では、卒業後の人生と社会を描くことからはじめ、人生と仕事、仕事と社会との関わりや意味を考え深める。次に、仕事をする意義を実体験を通して理解するために、企業・団体の実地研修を実施する。</p> <p>事前学習としては、就職活動に向けた基礎知識を習得し、ビジネスマナーの基礎も実習を交えて身につけて、実地研修に必要な準備を行う。実地研修は、各自が夏期休暇中に各企業・団体に実施する。この研修終了時には、研修の成果を報告書にまとめ、発表する。実際の就職活動に臨むために必要なスキルの習得に努める。</p> <p>※本科目を受講する場合は、インターンシップ II を合わせて受講すること。</p> | | | | | |
| 授業の到達目標(Course Objectives) | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・仕事の意義及び仕事と社会の関わりや意味を理解し、持続可能な地域社会実現への自らの貢献について将来像を描くこと。 ・実社会での業務体験を経験することで、仕事の意義や働く意味を体感し、実践的な知識を身につけること。 ・自分の適性に合った職業の見極めをして、実際の就職活動に役立てること。 | | | | | |
| 授業計画(Course Schedule) | | | | | |
| 第 1 回 | オリエンテーション (授業の進め方、就職活動の流れ) | | | | |
| 第 2 回 | 労働市場の変遷と現状 | | | | |
| 第 3 回 | 企業研究① 業界研究：各業界の仕事内容と環境 | | | | |
| 第 4 回 | 企業研究② 職種研究：各職種の仕事内容と必要なスキル | | | | |
| 第 5 回 | 自己分析① 自分の傾向を分析する | | | | |
| 第 6 回 | 自己分析② 自身の成功体験と失敗体験からの学びを振り返る | | | | |
| 第 7 回 | 自己分析③ 他人から見た自分 | | | | |
| 第 8 回 | 実習準備① 研修希望先の検討、研修希望先調査表の作成 | | | | |
| 第 9 回 | 実習準備② 研修希望先調査表提出、企業提出用履歴書の作成 | | | | |
| 第 10 回 | 実習準備③ 企業提出用履歴書の完成 | | | | |
| 第 11 回 | 実習準備④ ビジネスマナー | | | | |
| 第 12 回 | 実習準備⑤ 研修先の決定 | | | | |
| 第 13 回 | 他者とのコミュニケーション①：コミュニケーションスキルとは | | | | |
| 第 14 回 | 他者とのコミュニケーション②：ファシリテーションとは | | | | |
| 第 15 回 | 実習準備⑥ 実習ファイル、誓約書、保険等の準備、実習先提出表の作成等 | | | | |
| 授業時間外学習(Supplementary Activities) | | | | | |
| <p>予習：各回のテーマについて事前に説明する意図に沿って文献調査や自身の考えを整理するなど事前学習を行うこと。</p> <p>復習：講義の内容をもとに、日常的に新聞を読むなど社会の動きに関心を持ち、自身の学びや将来と社会の関わり、望ましい社会のあり方について考えること。</p> | | | | | |

| 成績評価の方法と基準(Grading) | | |
|---------------------------------------|-------------------------|---|
| 評価方法 | (割合) | 評価基準 |
| 授業への貢献度 小課題 期末レポート | (50%) (20%) (30%) | <ul style="list-style-type: none"> ●授業への貢献度：出席状況、授業時の発言、グループワーク時の取り組み姿勢、受講態度等を総合的に判断する。 ●小課題：講義の節目ごとに小課題を提示する。小課題については主に提出の有無を重視する。 ●期末レポート：期末レポートについては、社会の問題について自身の関心のもとテーマを設定し、自らの考えを論じることができるかどうかを重視する。 |
| テキスト (Textbook) | | 【書名】 【著者】 【出版社】 【出版年】 |
| 参考書・資料等 (Supplementary Reading) | | 授業時に適宜配布、提示する |
| 備考 (Other Information) | | 8、9月の夏期休暇中に実地研修に参加できること。留学生は日本語能力検定1級を取得していること。授業の中、及び研修にはスーツが必要な場合があるので用意すること。インターンシップⅡをあわせて受講すること。 |
| 教員との連絡方法 (Contact With Instructor) | | 研究室（4号館4階5研究室）へはいつでも訪問してよいが、席を外している場合も多いので、面談等を希望する場合はメール等（egami-naoki@fukuchiyama.ac.jp）で事前に連絡するのが望ましい。 |